

全国に広がる 思春期研究会

③にいがた思春期研究会

トライアングル(学校・家庭・地域)連携をめざして

1. 研究会の発足と歩み

「にいがた思春期研究会」発足のきっかけは、新潟県から新潟県看護協会に委託された思春期フォーラムの事業である。この事業は、二〇〇〇年二月、二〇〇二年三月、同年十二月と計三回実施された。この事業を推進する中で、「十代の性行動を包括的に研究し、会員相互の連絡、資質の向上

を図り思春期保健の推進に寄与すること」を目的として、フォーラムの実働部隊であった新潟県看護協会思春期電話相談事業委員会が中心となり、二〇〇二年七月、「にいがた思春期研究会」が発足した。現在、六年目を迎える、二〇〇八年七月現在の会員数は百七十二人、看護職、養護教諭を中心に医師、教員、警察関係、一般事務などさまざまな

職域の人たちが会員となっており、会の活動は、総会と研究会(会員からの研究発表、グループディスカッション、報告なども含む)の実施、ニュースレターの発行年三回(会員相互の情報共有と連携に重要な役割を果たしている)、県・市と共催の「世界エイズデー新潟」、新潟青陵大学学祭では「ヘルシー・セクシュアリティ

」を新潟県看護協会と共催で実施している。初代会長は、小柳恭子(現日本助産師会新潟県支部長)、現在は小林千津子(現新潟市保健所健康衛生課課長補佐)に引き継がれている。

この基本的な活動のほかに、二〇〇三年、二〇〇四年には新潟県からの委託によるピアカウンセリング事業(ピアカウンセリングの養成とピアカウンセリングによる高校への性教育)を実施、二〇〇五年

度においては、「高校生のための性教育講座講師派遣事業」として県内二十一の高校へ会員が講師となり性教育を行った。二〇〇八年度も「小・中・高の性教育講座講師派遣事業」として十六の学校で性教育を実施することになっている。また、二〇〇六年度は県内の中学校の校長先生を中心とした「下越生徒指導研究協議会」で「小・中・高を見通した性の指導と行動連携」性のトラブルを回避させる指導をめぐって」というパネルディスカッションを開催し、フロアーを含め会場全体で議論を深めた。日本思春期学会から地域活性化の資金を一回いただき、会の活性化研修に活用さ

せていただいた。

2. 研究会の活動

当会では、会の目的達成に向けて、総会及び研究会に併せてタイムリーな専門的知識の研修を企画・実施している。講演の主なものを示し活動紹介としたい(左表)。

今後は会の発展にむけて、十代の性行動と課題について包括的な研究に力を入れると共にピアカウンセリングの養成に取り組むなど、行政や看護協会と連携し新潟県の思春期保健推進の一翼を担っていきたくと考えている。

(にいがた思春期研究会 事務局長 渡邊典子)

を図り思春期保健の推進に寄与すること」を目的として、フォーラムの実働部隊であった新潟県看護協会思春期電話相談事業委員会が中心となり、二〇〇二年七月、「にいがた思春期研究会」が発足した。現在、六年目を迎える、二〇〇八年七月現在の会員数は百七十二人、看護職、養護教諭を中心に医師、教員、警察関係、一般事務などさまざまな

職域の人たちが会員となっており、会の活動は、総会と研究会(会員からの研究発表、グループディスカッション、報告なども含む)の実施、ニュースレターの発行年三回(会員相互の情報共有と連携に重要な役割を果たしている)、県・市と共催の「世界エイズデー新潟」、新潟青陵大学学祭では「ヘルシー・セクシュアリティ

」を新潟県看護協会と共催で実施している。初代会長は、小柳恭子(現日本助産師会新潟県支部長)、現在は小林千津子(現新潟市保健所健康衛生課課長補佐)に引き継がれている。



タイムリーな研修を実施

2002年度	「思春期の現況ークリニックの立場から」 赤枝恒夫(赤枝六本木診療所院長)
2003年度	「新潟県内の性感染症の実態」 鈴木宏(新潟大学大学院医歯学総合研究科教授) 「少年の行動の現状と課題」 石川志郎(新潟市教育委員会 スーパーサポートチームチーフアドバイザー)
2004年度	「いまどきの中学生 そこで私達は」 福富護(東京学芸大学教育心理学教授) 「思春期におけるインターネットとセックス」 渋井哲也(フリーライター)
2005年度	「思春期とDV」 中島幸子(Resilience代表) 「私の出会ってきた子どもたち」 高森美紀子(元新潟少年サポートセンター長)
2006年度	「性を斬る～性教育のおもてウラ ・子どもの本音」 NAMARA(新潟お笑い集団) 「思春期の不安や悩みへの支援 ～子どもの心の叫びから」 安川雅史(心理カウンセラー)
2007年度	「子どもたちをネット犯罪から守るために」 下田博次(群馬大学社会情報学部大学院教授) 「子どもたちへ伝えるいのちの重さ」 碓井雅史(新潟青陵大学大学院教授)
2008年度	「レディース・クリニックで出会う 思春期の子どもたち」 小林真紀子(小林真紀子レディース・クリニック医師)

＜にいがた思春期研究会＞
代表 小林 千津子
設立 2002年7月
会員数 172人
事務局 〒951-8121 新潟県新潟市中央区
水道町1-5939
新潟青陵大学 渡邊典子、石崎トモイ
TEL・FAX 025-266-9576